

2021年9月1日

教職員 各位

「城西現代政策研究」編集委員会・研究推進委員会委員長 倉成正和

城西現代政策研究会（ご案内）

拝啓

城西大学教職員の皆様におかれましては、ますます教育研究に励んでおられることと存じます。「城西現代政策研究」編集委員会・研究推進委員会では、現代政策学部の教員等のさらなる研究を奨励し、紀要「城西現代政策研究」への投稿等をより活性化することを今後も目指してまいります。

第8回研究会の開催を、以下の通り、決定しましたので、ご案内いたします。ぜひお時間を作って、積極的に参加していただけると幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

敬具

記

日時： 2021年9月17日（金）15:30～17:00
発表者： 酒井 宏平
テーマ： 「複数状況の組み合わせを考慮した観光客の避難行動に関する研究」
司会者： ベルタラニチュ・ボシティアン
会場： ZOOMにて

<https://us02web.zoom.us/j/7084478526?pwd=N005VExkdndsRXF2dGY0M3lwK21Ydz09>

Meeting ID: 708 447 8526

Passcode: tiger3

発表要旨

地域の情報や土地勘に疎いとされる観光客を災害から守ることは喫緊の課題である。本報告では、震災後に必ず行われる避難行動に関して、観光客の避難行動のモデル化を試みる。複数状況を組み合わせた条件下において、どの経路を選択するのかを尋ねる自記式調査を、世界遺産姫路城や、日本有数の観光地である京都市にて実施した。日本人観光客274名、外国人観光客107名の回答を回収した。そして、得られたデータは決定木分析を使って分析した。避難開始に影響を与える要因として、外国人観光客であるかどうか、他者の行動の重要度が高く、避難経路の選択では、誘導員の有無、経路幅、他者の経路選択の重要度が高いことが明らかとなった。報告では、これら結果と考察を交えながら、今後の展開・企画について紹介する。

第8回城西現代政策研究会担当：リッチー ザイン

連絡先：現代政策学部事務室 049-271-8077